令和8年度学校評価保護者アンケート（中間）集計結果

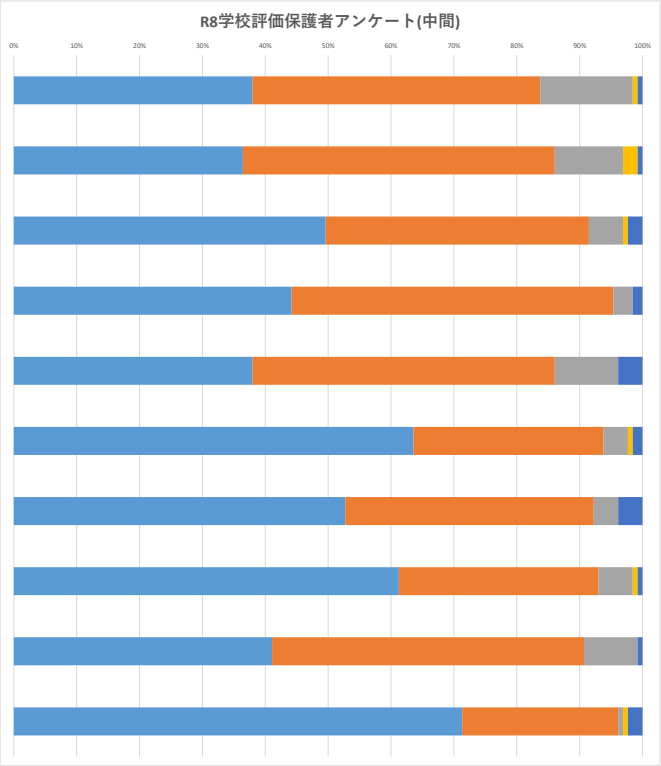
261102　校長　飯川浩ニ

1　調査期間　　令和8年10月24日(土)～11月1日(日)
2　集計方法　　Ｇｏｏｇｌｅフォームでのオンラインアンケート
3　集計数　　129／612家庭（21.1%）
※匿名回答計40件、その内学年・学級のみ回答20件

第２回目の学校公開は、土曜日開催もあったことから、のべ1300人を超える方に参観いただきました。
アンケートのあたたかいお言葉は、教職員のモチベーションの向上にも繋がっています。
自由意見、感想については校内で共有いたします。回答のご協力、ありがとうございました。
今回のアンケートから匿名での回答ができるように変更しました。
しかし今回も残念ながら回答率が低迷しました。今後もアンケート回答のご協力をお願いいたします。

	設　問	A そう思う	B どちらかといえばそう思う	A＋B 肯定的回答	C あまり思わない	D 思わない	NA 無回答
1 あたま	お子さんは、「自分でやってみる」「みんなとやってみる」を意識して、「見通す→やってみる→振り返る」探究学習や端末の活用、読書・俳句などの学習に前向きに取り組んでいると感じますか。	38%	46%	84%	15%	1%	1%
2 からだ	お子さんは、「自分でやってみる」「みんなとやってみる」を意識して、体育（わくわくタイム等）や体育的行事、コオーディネーショントレーニング、食育（給食）などを通して、体の健康や体力向上に関心をもっていると感じますか。	36%	50%	86%	11%	2%	1%
3 こころ なかま	お子さんは「自分を大切にする」「みんなも大切にする」姿勢が、こども主体の学級活動や学校行事、特に異学年交流等の学校生活を通じ、育っていると感じますか。	50%	42%	91%	5%	1%	2%
4 学校と家庭・地域との連携	①ご家庭は、学校と同じ方向を向き、こども教育目標（NEGs：「やってみる」「大切にする」）を意識した声掛けや関わりを行っていますか。	44%	51%	95%	3%	0%	2%
	②いじめや困りごとがあった際、学校（スクールカウンセラー、よつばルーム等含）には相談しやすい雰囲気があり、個に応じた配慮・支援があると感じますか。	38%	48%	86%	10%	0%	4%
	③ご家庭は、学校と連携することで、お子様が毎日安心して楽しく学校に通えていると感じますか。	64%	30%	94%	4%	1%	2%
	④学校は、コミュニティスクールや地域学校協働本部（ニカメファンクラブ、PTA等）と連携・協働して学校運営を行っていると感じますか。	53%	40%	92%	4%	0%	4%
	⑤学校は、ホームページや週予定表、「すぐーる」「Classroom」などを通して、学校生活や学習の様子を積極的に発信していると感じますか。	61%	32%	93%	5%	1%	1%
5 総合的に	①総合的に見て、ご家庭はこども教育目標を通じ、学校の教育活動に参画できていると感じますか。	41%	50%	91%	9%	0%	1%
	②総合的に見て、お子さんを第二亀戸小学校に通わせて良かったと感じますか。	71%	25%	96%	1%	1%	2%

※小数点以下は四捨五入しています。



変更して初めてのアンケートで回答しにくかったかもしれませんが、ご協力ありがとうございました。

★選択回答の分析（あくまで回答率21.1%ではありますが）

1　成果

【5】②総合評価（肯定率 96.1% /「そう思う」71.3%）の高水準
　○「通わせて良かった」という総合的な満足感が高い。否定的な意見（あまり思わない・思わない）1.6%の改善。
【4】①家庭での実践（肯定率 95.4%）家庭でも「やってみる」「大切にする」というNEGsの合言葉を意識した声掛けが広まる。
【4】③安心・通学（93.8%）と【4】⑤情報発信（93.0%）の支持
　○「安心して楽しく通学できている」（そう思う：63.6%）、「デジタルを活用した積極的な情報発信」（そう思う：61.2%）

2　課題

【5】①総合評価（肯定率 90.6%の高水準の一方、「そう思う」41.1%）
　→改定した保護者アンケート同様、今後のNEGsの取組を家庭や地域への周知し、参画や声掛けにつなげていく
【1】あたまつくり（肯定率 83.7% / 否定率 15.5%）全項目の中でやや「あまり思わない（14.7%）」の比率が高い。
　→端末活用や探究学習、「見通す・やってみる・振り返る」の学習サイクルについて、積極的に発信していく。
【4】②学校の雰囲気・相談（肯定率 86.1% / 否定率 10.1% / NA 3.9%）相談のしやすさや個に応じた支援
　→約1割の保護者が課題。スクールカウンセラーやよつばルーム等の支援体制の構築や、初期対応を丁寧にしていく。

★自由意見の分析

　115周年記念行事や学校からの情報発信（週予定表等）、教職員の温かい対応・熱心な指導に対して高い評価と感謝の言葉多数。

1　成果・評価（良かった点・感謝）

　○こども教育目標（NEGs）：「やってみる」「大切にする」が浸透し、自己肯定感や自主性の育ちを感じている保護者多数。
　○115周年記念行事・学校行事：こどもたちが主体的に生き生きと取り組み、素晴らしい行事になったという感謝の声多数。
　○情報発信とデジタル活用：週予定表の配信やClassroom、すぐーるの活用により、学校での学習・生活の様子がよくわかると好評。
　○教職員の関わりと雰囲気：先生方の丁寧な指導、親身な相談対応、学校全体の明るい雰囲気や心理的安全性に対する評価多数。

2　要望・改善点

　○連絡・配信ツールの運用：一部、急な変更や配信時間のばらつき、確認漏れを防ぐための運用の明確化についての意見。
　　→学校予定表や学年会（各学年の担任教員の連絡会）等を活用して、丁寧に発信する。
　○学習指導・宿題：一部、宿題の量や難易度の個に応じた調整、端末を活用した家庭学習のあり方について工夫を求める声あり。
　　一部、こどもたちの授業態度についてのご意見もあり、改善していく。
　○安全・生活面：登下校時の安全確認や、異学年交流・休み時間における児童同士の安全な関わりについての配慮要望あり。
　　→保護者の中でも登下校の安全等について協力したいという意見あり。

3　家庭での関わり・参画の視点

　○学校の方向性に共感し、家庭でも「やってみる」「大切にする」を意識した声掛けを実践している記載多数。
　　一部、「具体性に欠ける」との指摘もあるが、各家庭で「こども教育目標」を意識してくださっていることに感謝。
　○地域連携やコミュニティスクール、PTA活動、ニカメファンクラブ等に対する理解と、学校活動をサポートしたいという声多数。

★匿名での回答について（今後もよろしければ記名をお願いいたします）

　匿名式は、安心して回答できる良さはありますが、時にハラスメントに該当するような記述が見られる場合があります。しかし、今回のアンケートではこれまでの回答と大きな差はありませんでした。今後も保護者の皆様が回答しやすい方法を模索していきます。
　アンケートには書けず、どうしても伝えなければというような内容は、遠慮なく直接管理職にお電話ください。